



葉と混ぜて煮る、粉石けんの重さを調整



ヨモギを集める子どもたち



すき杵を引き上げ、乾かすと紙ができます



ヨモギの葉をハサミで細かくします

当日は、野外スポーツには、暑すぎるほどの天候であったため、洞爺村市街地を歩いたり、止まってからだを休めるランナーも多く見られました。

設置された給水所では、次々に訪れるランナーのために、村内のボランティアの皆さんが水やバナナを用意するなど、マラソン大会を陰で支える姿がみられました。

また、沿道では住民の皆さんの拍手や声援に心えて、「バナナおいしい」と話したり、声援に手を振るランナーもいました。

野草で紙づくり

財田自然体験ハウス

洞爺財田自然体験ハウスでは、毎月各種自然体験事業が実施されています。

五月二十八日には、ヨモギの葉を利用した紙づくりが行われました。

参加した子供たちは、スタッフの説明を聞き、湖畔で

ヨモギの葉を集める、水と粉せつけんを入れてやわらかく煮る、洗いおけに浸したすき杵に注ぐ、杵からはずして乾かすなどの行程を体験し、はがき大の少し緑がかつた紙を立派に完成させていました。

今後も、次のような自然体験行事が予定されており、村内者は無料で参加できます。皆さんもぜひ気軽に参加してみてくださいいかがでしょうか。

六月十八日

…ネイチャーゲームで自然と遊ぼう

七月二十三日

…小麦・ふくらんでパン

八月二十日

…水辺の生き物探し(たからだ図鑑夏編)

なお、お申込み、お問い合わせは、洞爺財田自然体験ハウス(82 5999)までお願いします。